

2023年7月7日

多摩福祉会評議員理事監事の皆さま  
職員、職員 OBOG の皆さま  
関係者の皆さま

安川 信一郎

## 理事長就任にあたってのご挨拶

この度、社会福祉法人多摩福祉会の理事長に就任した安川信一郎です。6月24日の評議員会および理事会の議を経て理事長に就任いたしました。本来なら、皆さまに直にご挨拶すべきところですが、書面にて失礼いたします。

垣内前理事長からは経営会議をはじめ、職員が主体的に運営参加するなど民主的な法人運営のあり方について多くのことを学びました。

垣内前理事長の後任という重圧の中で日々を過ごしていますが、理事、監事、評議員、職員みなさんの力を借りながら法人の理念実現のために努力していきたいと思います。

私は養護学校の教諭になりたいと思い大学に入学しました。サークル活動とアルバイトが中心の生活だったためか、卒業を前にしてことごとく採用試験に落ちてしまいました。これからどうしようかと悩んでいた時に、ゼミの教授が東京にある多摩福祉会を紹介してくださいました。サークルで子どもたちと接するなかで漠然と子どもにかかわる仕事がしたいとの思いがあったため、無資格でしたが、多摩福祉会で働くことになりました。

1977年4月に多摩福祉会に入職してから46年になります。半世紀近くになると思うと良く続いたものだと改めて思います。

今でこそ、「子どもの気持ちを大切にしよう」「子どもがそうするには理由があるんだよ」など職員には話していますが、就職した当時の私は、子どもの気持ちを理解しようとせずに自分の思いを子どもたちに求める保育士でした。

こぐま保育園の職員、父母、子どもたちに支えられて今があるような気がします。保育士としては10年ほどの現場経験しかなく、その後はこぐま保育園の幼児主任を経て園長となりました。その当時は年齢別保育から異年齢保育への移行の時期で、現在の園舎建て替えにもかかわることができました。

その後、練馬区の公立保育園の民間委託に伴い向山保育園に園長として異動することになりました。向山保育園で6年、砧保育園で4年（副園長1年）、新設の上北沢こぐま保育園で3年、最後の園長職が以前園長をしていた向山保育園でした。

自分が必要とされている、誰かがやらなければいけないという気持ちで46年間やってきたと思います。

学童を除く法人すべての施設で園長をすることができました。大変なこともありますが、新しい環境に自分の身をおくことで、常に新たな出会いがあり、自分自身が成長できたと思っています。

自分自身の課題でもあるのですが、広い視野に立ち客観的に物事を判断するためには、学習はもちろんですが、時間と体調と心の余裕が大事です。時々各施設に出向き子どもたちからエネルギーをたくさんもらいたいと思います。

今年度、法人は練馬区での新園の開設、放課後子ども教室等々様々な事業に取り組むことになります。理事長一人でどうにかなるものではありません。法人職員みなさんの知恵と力を結集して、多摩福祉らしい法人運営をおこなっていきたいと思います。

今後ともよろしくご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。